

東山花だより

(題字は元同盟委員長 故 北村徳太郎 氏)

2015年

あ 秋 き



「台風接近、ひた走る。こどもチャリンコキャンプにて」 (写真: 小曾戸 恒夫) 解説はP4「さるのつぶやき」へ

Y M C A 東山荘100年募金1億円が成就した晩には新本館に寄付者名一覧が掲げられる。虚栄心や名誉欲からY M C Aに寄附をする人はおらず、逆に無記名の方もいる。

Y M C A、東山荘は青少年に「生きる喜びを伝える。」

「明日への希望を分かち合う。」ことが最大の使命であり青少年の未来を有志の皆さんと共に作り上げていくことが働きでもある。この使命と働きは鎌倉武士が戦場にて名乗りを上げたとき死への恐怖を克服して「名こそ惜しけれ。」と懸命に生きることに、自己の尊厳性を追求したことに繋がる。

今、東山荘は喜びを持って今日を精一杯生き抜き、その結果として未来への希望を分かち合う募金を展開している。一人でも多くの方にお加わりいただき「名こそ惜しけれ」との美意識を持った自己存在の証としての募金を頂戴していきたい。100年後の曾孫か玄孫が先祖に当たる私達の名を見つけ「曾婆ちゃんも曾爺ちゃんもなかなかヤル。」と今度は次の100年のために行動する人となってくれるような募金文化が華開くようイエス・キリストのみ名を通して祈りたい。

夕陽の風

17 堀口 廣司

さるのつぶやき

さるリーダーのつれづれ話

かつて自転車は、こども達にとって自分の世界が飛躍的に広がる夢の道具でした。放課後や休日、友だちと遊ぶ時、いつも自転車が一緒でした。近所の川に沿ってひたすらペダルをこぎ続け、ついには海に出て満足し、また戻る、というようなことをしていました。夢の道具なので、手入れや修理もお手のものでした。

しかし近年、自転車に乗るこども達の姿を次第に見かけなくなっています。その原因は少子化ということもあるでしょうが、都市化に伴う交通量の増加や、車優先の道路整備など、自転車に乗りにくい環境になっていることが大きな要素だと思います。またその環境悪化に伴って各地の小学校では「4年生になるまで親同伴でなければ自転車に乗ってはいけない」とか「4年生になるまで自転車で校区外に出るはいけない」等のルールが生まれました。

そこで「こどもチャリンコキャンプ」を始めました。富士山麓一周、洞窟、湧水、川、湖等毎回様々なテーマのもと、ペダルをこぎます。参加者の中には、自転車に辛うじて乗れるだけで安全運転技術は皆無、という子もいますが転倒など痛い思いや、ヒヤッとする思いを何度もくり返し、何度も泣き、一人前になります。一日で70km走行したり、未舗装路を30km走り、悪路は自転車を押し歩き、担ぐこともありますが、こども達はやってのけます。毎回、その潜在能力には驚かされます。こうして自転車は、こども達の夢の道具になるのです。

表紙写真 小曾戸 恒夫(富士山先生)
つぶやき 白鳥 裕之
(ネイチャープログラム主任)



from the Secret Garden



指先に止まった小さな虫はホソヒラタアブです。秋の初め頃までの「ふじさんぽ」の休憩中、こども達の近くによく現れます。体色がハチに似ているので一瞬騒然としますが、実はおとなしい虫で、観察すると吻(ふん・嘴のようなもの)を出して汗を吸っている様子がよく分かります。

はじめは「こわい」と言っていた子も、近くでよく見ているうちに「かわいい」と思えるようになります。そんな初めての出会いの瞬間に立ち会おうと、こちらからわくわくしてきます。

「怖い」という感情は、相手のことをよく知らないから起こるのでしよう。それは自然体験に限らないのだと思います。

一度本物に出あつて親しみを感じると、それは怖いものではなく相手をよく知りたくなり、やがては大切な友だちに変わっていきます。

季節の一品 ~厨房だより~

林檎の赤ワイン煮

●材料 (4人分)

林檎 1~1.5個
赤ワイン 200cc
白ワイン 200cc
グラニュー糖 100g
レモンの皮 1/2個分
バニラエッセンス 少々
バニラアイスクリーム 適量
ミントの葉 適量

●作り方

- ①林檎は1/6~1/8に切り皮を剥く。
- ②赤ワイン、白ワイン、グラニュー糖、レモンの皮を鍋に入れ①の林檎を並べ紙の落し蓋をして火にかけ、沸騰したら弱火で10分位煮る。
- ③②の粗熱が取れたら冷蔵庫で一晩寝かせる。
- ④器に盛り、アイスクリームを添えてミントを飾る。

林檎は好みの物で大丈夫。

煮過ぎないことがコツです!!

最新情報はこちらをチェック!!

東山荘ホームページ

<http://www.ymcajapan.org/tozanso/>

東山荘フェイスブックページ

<https://www.facebook.com/ymcatozanso>

東山荘ネイチャープログラム FB

<https://www.facebook.com/natureprogram>

期間限定キャンペーン

2015年11月1日~2016年3月31日

- ・ウィンター学生プラン (1泊2食付10名様~)
 - 小学生 …5,400円
 - 中・高・大学生 …6,480円
 - ・ウィンター・ロッジプラン(貸切は15名様~)
 - 大人素泊まり …5,400円
- 上記の他、ツインルームご宿泊、会議室割引のプラン、お食事のお得なプラン等がございます。詳しくはお問合せください。

主催プログラムのごあんない

●晩秋のこども自然キャンプ●
日程 11月29日(土) ～ 30日(日) 1泊2日

対象 小学1年～6年生の男女
※中高生ジュニアリーダーも同時募集
参加費 小学生13,000円
中学生8,500円
高校生6,500円

内容 何をやるかは、まだ決まっていけないけれど、きつと「胸躍る3日間」になるはず。

さあ、キャンプキッズよ、東山荘に集まれ！

※既に募集を開始しています。

●こどもクリスマスディキャンプ●

日程 12月23日(日) 日帰り

対象 どなたでもどうぞ

※おとなや幼児の参加も大歓迎

参加費 2,000円

(昼食代、プログラム費、保険料、消費税込)

内容 こどもキャンプに参加したいけれど、対象年齢に達しない、どんなリーダーやメンバーがいてどんなプログラムをやっているのか知りたい…そんな皆さんにも最適な機会です！

こどもも大人も、赤ちゃんも大歓迎です。冬の一日、みんなでホカホカ笑い合いましょう。

●第50回年末年始家族パーティー●

日程 12月30日(火) ～ 1月4日(日)

内容 50回の節目を迎える今回も、様々なアクティビティを用意しています。のんびり過ごすもよし、精力的に過ごすもよし。ご家族、お友達と、もちろんお一人様でもお気軽にご参加いただけます。

※詳しくは別紙パンフレットをご覧ください。

プログラム通信

こども富士登山キャンプ

8月10日～13日

小学1年生から中高生のメンバーとスタッフ、リーダー総勢70名が富士山の旅を共にしました。その6割が去年荒天のため頂上に辿りつけなかった「リベンジャーズ」でしたが、今年は天候にも恵まれ、全員登頂しおはちめぐりも無事に達成できました。

リーダー達は、励ましたり支えたりすることはできるけれど、歩き続けるのはこども達自身。最後まで諦めずに、仲間と一緒に楽しみつつ歩き通すことができたこども達は逞しく、清々しい顔をしていました。この経験が、いつの日か自分自身を励ますものとなるでしょう。

日本最高所剣ヶ峰への急登「馬の背」。

息を切らさず、一步一步着実に頂上へ。



のんびり楽しく富士山登頂

8月27日～30日

5歳から60代後半までのメンバーとスタッフ・リーダー併せて37名の大家族のようなみなさんと一緒にしました。長く単調な行動も、みんなと一緒に楽しい時間にならなくていいです。小さな子達はたちまち仲良しになつて場を和ませ、大きな人達はこども達の姿に励まされながら一步一步進んでいきました。

気温がぐんぐん下がる夜も山小屋の外では、下界の夜景を眺めながらのおしゃべりに花が咲きました。特別な場所で、特別なひと時を分かち合う温かさを感じました。

励ましたり励まされたりしながら、全員無事に頂上に辿りつき、おはちめぐりも歩き通すことができました。

日本一高い山への道程の一步一步は小さいけれど、諦めなければ必ず頂上にたどり着けるという尊さを感じたのではないでしょう。5歳も6歳も同じように精一杯頑張りました。良い仲間巡りにあえてしあわせな旅でしたね！

明るむ空に励まされる早晩の登山を



初秋のこども自然キャンプ

9月19日～23日

世の中はシルバークロウイックだ大型連休だと賑やかでしたが、こどもキャンプのメンバーはお構いなし！よく遊び、よく食べ、よく眠り、こども時代にしか味わえない連休を満喫しました。

このキャンプには、懐かしいリーダー達や大きくなったキャンプキッズ達も、久しぶりに顔を見せてくれました。

東山荘の庭では、新本館工事着工前の姿を惜しむかのよう、昼も夜もさるボードBSで盛り上がり、周辺の大渋滞をかい潜って出かけた富士山では、しつとりと苦むした森を歩いてきのこ達に出合ったり、誰もいない砂の谷では思いきり駆け回ったりしました。

全長約9kmの道程を8時間半かけて歩いた日もありました。

こども時代に、たくさん本物に触れながら、しつかり「こども」を生きることは、やがて大人になっていく彼らの宝物になるでしょう。

砂の谷を疾走!!

BSSサイコー!!



を述べていました。

大いなる自然というフィールド、高い専門性をもった素晴らしいガイド、子ども達一人ひとりの心のサポートをしたボランティアと仲間達、この3つの調和によって全員が山頂に立つことができた心から感謝しております。

埼玉YMCA 太田 聡

◆ ◆
初めに富士登山に関わって下さった全ての皆様に感謝申し上げます。

いちばんのこっている。おもいで、たくさんのもたちが、できたことです。

みんなで、ふじさんへのぼってふじさんのポーズをしたり、たんじょうびの日においおいをしたり、さむいなかでおはなをし、したりなどしてほんとうにたのしかったです。

みんなで、きょうりよくを、したり、たすけあったり、した、おかげで、ふじに山のてっぺんまで、とうちゃくをしました。 またあいたいです。

(原文のまま)

彼が登山で親しくなれた埼玉Yのメンバーに宛てた手紙です。

特に山小屋の外での会話は本当に楽しかったようです。寒くないかと声をかけしても「寒くありません」と笑いの多い時間を過ごしました。でも、本当は寒かったのです。登山は彼自ら志願して参加しました。一人参加の息子に不安を抱えながらも富士登山へと後押しをしてくださったお母様に感謝です。三日間の母の想いははかり知れ

出張プログラム承ります

東山荘オリジナルのプログラム各種は、ご都合の良い時間と場所でご利用いただけます。詳しくは、予約係までお気軽にお問い合わせ下さい。

お申し込み・お問い合わせ
資料のご請求は…

日本YMCA同盟 東山荘
〒412-0024 静岡県御殿場市東山1052
TEL 0550-83-1133
FAX 0550-83-1138
E-mail: tozanso@ymcajapan.org
http://www.ymcajapan.org/tozanso/

ステップⅡ研修
始まりました



9月15日(火) から73泊74日の研修が始まりました。

ステップⅡ研修は次世代のYMCAを担う職員が業務を遂行するために必要な知識、理論、方法、技能を修得するとともに、YMCAミッション遂行能力を養う研修です。

2015年研修生は10YMCAより計14名が、共に学び絆を深めています。

ませんでした。しかし、登山を経験した彼の三日間を報告すると、今まで味わったことのない感情が溢れてきたようでした。通常活動ではみられない彼の言動に担当としても驚きや喜びを感じました。

富士登山という目的に向かって参加者全員が一つになり全てを共有する経験が出来たことは、参加者にとっても最高の喜びです。

とちぎYでは毎年登山に参加させていたいただいております。富士の大自然から、そして白鳥さんはじめ東山荘スタッフの皆様からの学びは、日常の生活にも活かされています。特別支援を要する人たちの関わりかたには、大きな力となっています。だからこそ10年という長い間の交流も続いているのだと思います。

来年の富士登山に想いを寄せながら、皆様に感謝申し上げます。

とちぎYMCA

Challengedグループ担当

坂本ちえ子

おたより・声・メッセージ

この夏は9回の富士登山プログラムの実施、合計約300名と富士山の旅をご一緒しました。この内横浜・埼玉・とちぎの3YMCA合同富士登山キャンプについて、ご紹介いたします。

横浜・埼玉・とちぎの3YMCA合同富士登山キャンプには小学生から大人まで総勢34名が集まり、富士山頂を目指しました。

このキャンプは発達障がいのある子ども達も多く参加しています。彼らは、初めての場所や経験を苦手とすることが多く、新しいことや難しいことにチャレンジするためには、多くの準備を必要とします。また、見通しが立たないことに不安を持つことが多く「できない」「やらない」ことがあります。

そんな彼らと共に富士山頂を目指します。初日にはネイチャースタッフと共に、しっかりとしたオリエンテーションを行います。

彼らにとって荷物の整理は苦手なことのひとつです。こだわりの強い子ども達にとって「持っているもの」と「持っていないもの」



い〜ち、に〜い、ふじさ〜ん！
みんなの心を束ねながら進みます。



整然とした美しい隊列です。
みんな精一杯頑張っています。

が富士山に登ることはなく、人生の1ページに「成功体験」という「いい天気」を付け加えてくれる！そんな不思議がいっぱいなのが富士山なのだと思います。

横浜YMCA 山中奈子



須走口頂上に全員揃って記念撮影。
よく頑張りました！みんな良い顔をしています。



登山道脇で見つけた
ビンズイの巣。卵は
無事に孵ったかな？

山小屋からの眺め。
夜は雲間に街の灯が。